

仕 様 書

機器名	スケールベッド		
機器構成	下記の機種一式 アリウスシリーズICUベッド KA-H7410A 6台 エアマット こちあ利楽／清拭 KE-973S 6個		

要 求 条 件

I スケールベッド内訳	品番	数量
アリウスシリーズICUベッド	KA-H7410A	6 台
エアマット こちあ利楽／清拭	KE-973S	6 個
付帯費用		6 式
II 納入条件等		
1 機器仕様（スケールベッド）		
(1) 全長は2,180mm程度、全幅は996mm程度、ボトム幅は830mm（病院既存マットレス幅）であること		
(2) ベッドの最低床高は、330mm以下であること		
(3) 背あげ・膝あげ・ハイロー・トレンデレンバークおよびリバーストレンデレンバークが単独で操作できること		
(4) 背あげと膝あげ、あるいは背あげと膝あげと傾斜は連動して操作でき、各動作は、電動アクチュエータで作動すること		
(5) ベッドは日本国内の計量法に基づく検定合格品であること（精度等級3級、目量0.1kg、ひょう量255kg）		
(6) ベッド上の患者の起き上がりや離床等の動作を検知し、ナースコール中継ユニット（別売）を用いてナースコールへ通知することができる機能を備えること		
(7) 足側に延長フレームを備え、引き出すことで延長マットレス（別売）を取り付けることができること		
(8) メインフレームの左右に取り付けることができる離床グリップ（別売）を用いて使用者の端座位時における手すりとして用いることができ、使用者の前方に支持基底面を拡大し、支えが作られるため離床動作を補助することができること		
(9) 使用者の感電を防ぐためや、心電計のハムノイズの混入を防ぐためなどに、電源ケーブルは保護接地端子（アース端子）を含む3Pプラグを備えること		
(10) ベッドリンクケーブル（別売）を用いて特定のエアマットレス（別売）と接続することにより、エアマットレスがベッドの背角度変化を自動で検知し、臀部の底着きを防ぐために、自動でエアマットレスの内圧を調整する機能を有すること		
(11) ボトムは背・腰・膝・足の4分割構造で、主材料は樹脂素材および鋼管とすること		
(12) 背ボトムはギャッチ時のずれや圧迫を軽減するための機構を有すること		
(13) 緊急背さげをするための操作レバーを有すること		
(14) キャスターは、車輪径12.5cmで、切り替えペダルにより、4輪同時固定、4輪同時自在の切り替えが行えること		
(15) ベッドに静電気が蓄積されるのを防ぐため、4輪のうち1輪を導電キャスターとすること		
(16) 頭側にはボトム取付型、足側にはメインフレーム取付型のサイドレールを備えていること。サイドレールは回転式の		

要 求 条 件	
	構造であること
(17)	サイドレールには操作レバーを備え、ロックできる構造であること。ロックの構造は、サイドレールの下方向もしくはベッドの外側方向に荷重がかかっている場合には、解除しにくくなる構造であること
2 機器仕様（マットレス）	
(1)	エアマットレスは厚み13cmで防水透湿カバーの清拭タイプと通気消臭カバーの通気タイプの2種類があること
(2)	エアマットレスは、電源プラグをコンセントに挿し、エアマットレスに寝るだけで、5～15分間で患者の体重を算出し、使用者体重20kg～138kgの範囲でかたさを自動設定するかたさ自動運転機能を有すること
(3)	かたさ自動運転機能により、背上げや、患者の拘縮、骨突出、円背等に合わせて、患者がベッドのボトムに底づかないようにエアセルのかたさを自動で調整することができること
(4)	エアセルが2本おきに順次、収縮・膨張を繰り返すことで、同じ箇所に圧力が加わり続けるのを防ぎ、褥瘡リスクを軽減する機能を有すること。この機能は背上げ中も動作すること
(5)	患者の移乗やリハビリテーション時の端座位の際など、エアマットレスを通常よりもかたいモードに設定することで、患者の身体の沈み込みを減らし、身体を動かしやすくすることができること
(6)	エアマットレスのカバー内部に送風する除湿機能を使用することで、こもった熱や湿気をカバー外部に逃がせること
(7)	ポンプに取り付けられたカプリングを抜去することでエアマットレスの空気が排気され、30秒以内に胸部圧迫による心臓マッサージに適したかたさにできること
(8)	エアマットレスのかたさを自動で設定するかたさ自動運転と、手動で設定する運転と切り替えることができること
(9)	ベッドリンクケーブルを使用することで特定の電動ベッドからの電源供給が可能となり、使用するコンセントや電源ケーブルの配線が不要となること
(10)	ベッドリンクケーブルを使用して特定の電動ベッドと連動している状態では、背上げ・背下げ時にエアセルを通常よりも高速で収縮・膨張させることで、身体に生じるずれ・圧迫による不快感を軽減する機能を有すること
(11)	エアマットレスの上面カバーの直下にはウレタンフォーム層を配し、エアセルの凹凸感を和らげること
(12)	送風チューブおよびポンプをマットレスの内部に収納できること
(13)	ターボ運転機能等によりエアマットレス設置時の給気時間を短縮できること
(14)	電磁弁を配置することで停電時のエア保持性能を向上させていること
3 納品	
(1)	横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下、当院とする。）の指定の場所に納品すること
(2)	当院の指定する場所から搬入可能であること。詳細は別途協議すること
(3)	機器の搬入、養生設置、据え付け、調整及び必要に応じて既存機器の廃棄を行うこと
(4)	設置時までに装置等の仕様変更があった場合は、当院と事前協議の上、最新の仕様で設置すること
(5)	配送・設置費用および廃棄費用を含むこと
(6)	付帯工事は、当院と事前協議し、指示に従い施行すること
(7)	納品、稼働は令和5年3月31日までにを行うこと
(8)	受入試験は、当院スタッフ立会いのもとに行うこと。試験内容等の詳細は別途協議すること
(9)	機器の瑕疵については、無償でその対応を行うこと また、動作障害などが発生した場合は、早急に原因を究明し問題解決を図ること
(10)	納品、廃棄については、事前に相談・調整を行うこと

要 求 条 件

4 保守・メンテナンス

- (1) 発生した故障の修理、および定期点検を実施できる体制が整っていること
- (2) 通常の業務時間（月～金：8時～19時）においては、ユーザからの障害連絡後、翌日までに故障箇所の確認、簡易的な修理等一時対応できる体制が整っていること
- (3) 土日、祝日、年末年始などのベッド使用時に修理が発生した場合に受付可能なコールセンターを備えていること
- (4) 引渡し後1年間は無償保証期間とすること
- (5) 本調達に関連する交換部品等については、10年間以上の修理部品を確保すること

5 教育

- (1) 操作マニュアルは、全ての機器について日本語版で2部以上用意すること
- (2) 担当者に対して教育訓練を実施する体制が整っていること
- (3) 担当者が必要と認めた場合、繰り返し教育、訓練を行なうこと

6 その他

- (1) その他、明記されていない事項で問題が生じた時は、別途協議の上、決定すること